

TRHO Racing

2023 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第1戦 SUPERBIKE RACE in MOTEGI Race Report

激戦を制し國峰啄磨が
開幕戦MOTEGIを優勝で飾る！



2023年4月1日(土) 公式予選・JSB1000レース1 天候：晴れ コース：ドライ
2日(日) 決勝・JSB1000レース2 天候：曇り コース：ドライ
観客動員数：8600人(2日間合計)
栃木県・モビリティリゾートもてぎ(1周=4.801km)

ST1000

#2 國峰啄磨

予選7番手(タイム：1分49秒873)決勝：優勝

JSB1000

#10 清成龍一

レース1 予選10番手(タイム：1分49秒611)決勝：9位

レース2 予選10番手(タイム：1分49秒690)決勝：7位



全日本ロードレース選手権シリーズ開幕戦が栃木県・モビリティリゾートもてぎで今年も行われた。鈴鹿8耐を見据え2020年に再び始動しTOHO Racingは、昨年、清成龍一を起用するが、開幕前のアクシデントで負傷し、鈴鹿8耐からの復帰となった。その鈴鹿8耐では、5位入賞を果たすが、チームとして久しぶりの参戦となったこともあり課題も多く残った。2022年後半戦から“清成体制”が本格的に始動し、TOHO Racingセカンドシーズンが形となっていった。

そして迎えた2023年シーズンは、JSB1000クラスに清成、ST1000クラスに國峰啄磨がフル参戦。2クラスで上位を狙っていく。

3月に入ってから岡山国際サーキットでプライベートテストを行い、前週に行われた事前公開テストに参加。昨年の、もてぎラウンドは清成がケガのため欠場したこともあり、ほとんどゼロからマシンセットをスタート。JSB1000クラスは、今シーズンより世界に先駆けてカーボンニュートラル燃料が導入されることもあり、その対策にも追われることになっていた。

國峰は、事前公開テストから順調にマシンセットを進めて来ていたが、金曜日1本目の走行開始直後に130Rで転倒。ケガはほとんどなかったものの、マシンが大破してしまう。メカニックは、2本目までにマシンを修復し、何とか間に合っ

たかと思ったところ直しきれていない部分があり、すぐにコースインすることができなかった。セッション中盤にようやくコースインしたが、金曜日は、マシンを確認する程度にとどまってしまった。

青空と共に強い日差しに恵まれた土曜日は気温も上昇し汗ばむほどとなった。清成は事前公開テスト、そしてレースウィークに入っても様々なことを試し、何とかマシンをよくしようとチーフメカニックと試行錯誤を繰り返してきた。公式予選でも、その作業は続けつつ、ベストタイム、セカンドタイム共に10番手と、まだまだライバルとの差を詰められないでいた。

國峰は、コースレコードを更新するタイムをたたき出すものの、周りも速くポジションは7番手。3列目から2023年のオープニングレースに挑むことになっていた。

JSB1000クラスの清成とチームは、事前テストから問題となっている部分を解決しようと試行錯誤を繰り返してきたが、なかなかいい方向に進まず、ラップタイムを縮めることができていなかった。土曜日のレース1は9位、日曜日のレース2は追いつけて7位となったが次戦に向けて課題の残る結果となった。

日曜日最後に行われたST1000クラス。國峰は好スタートを決め1コーナーを6番手で入っていくと3コーナーで4番手に浮上。5コーナーで荒川選手にかわされるものの、S字コーナー進入で抜き返すと、V字コーナーで高橋巧選手をかわし3番手に浮上しオープニングラップを終える。國峰は、さらに前をいく高橋裕紀選手を3周目の、やはりS字コーナー進入でかわし2番手に上がると、5周目の1コーナーでトップに浮上する。

その後、國峰はレースをリード。最終ラップはポールシッターの國井選手との一騎打ちとなる。V字コーナーで國井選手がしかけてくるものの、冷静にクロスラインを取りトップをキープ。90度コーナー、ビクトリーコーナーと勝負どころを抑えてゴール。開幕戦を制し、幸先よいシーズンインとなった。



TOHO Racing

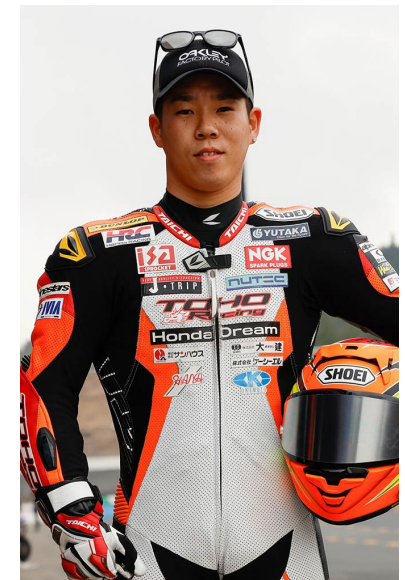
JSB1000ライダー 清成龍一コメント

「まずは2023年の開幕戦を迎えられたことをチームを始め、応援してくださっている皆さんに感謝いたします。事前公開テストから問題となっている部分をチームと解決しようと努力してきましたが最後まで直らずラップタイムも縮めることができませんでした。チームも夜遅くまで改善しようと、すごく頑張ってくれたのですが、最初に走ってからほとんどタイムが変わらず終いでした。レースを戦ったことで分かったこともあったので次回の鈴鹿で、この問題を解決できるようににチームで取り組んでいきます」



ST1000ライダー 國峰琢磨コメント

「開幕戦で勝つことができ、すごくうれしいです。金曜日に大きな転倒をしてしまいマシンが大破しチームに迷惑をかけてしまいました。マシンも全く変わってしまった状態でしたが、予選でマシンの確認を行い、決勝日朝のウォームアップ走行で國井選手と一緒に走り勉強させてもらいました。勝つ自信はなかったのですが、一つでも前でゴールしようと思って挑みました。レース中は、とにかく集中して自分の走りをするのを心掛けました。次戦も頑張ります」



戸井田剛 JSB1000チーフメカニック

「去年もてぎは欠場していて車体のデータもないところと今回からカーボンニュートラル燃料になり、なかなかマシンセットを詰め切るところまでいけず、いい状態でレースができなかったことは残念でした。ただ、最後の最後で兆しも見えてきていたので、次戦、鈴鹿2&4レースでは、いいポジションでレースができるように、しっかり準備してレースに挑みたいですね。チームとしては、速い選手がたくさんいるST1000クラスで國峰が勝ってくれて、いいスタートが切れてよかったです」

福間勇二 チーム代表コメント

「新しいシーズンが始まりました。今年も東広島の皆さんを始め、多くのスポンサーの皆さん、応援してくださっている皆さんに感謝いたします。まずは國峰が強いレースを見せて開幕戦を制してくれたことは、チームにとってよかったと思います。チームのみんなの頑張りを讃えてあげてください。JSB1000クラスの方は、カーボンニュートラル燃料の導入もあり苦戦しました。全日本参戦は鈴鹿8耐を見据えての目的があるので、参戦意義も考えざるを得ない状況だと思っています。何より安全にレースができる状況を望みます」

このリリースに関するお問い合わせは
TOHO Racing 担当：谷村まで

